

株主メモ

事業年度	2月21日～翌年2月20日
期末配当金受領株主 確定日	2月20日
中間配当金受領株主 確定日	8月20日
定時株主総会	毎年5月中旬
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.jeansmate.co.jp/ir/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第51期

中間報告書

自 平成22年2月21日
至 平成22年8月20日



株式会社ジーンズメイト

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第51期第2四半期累計期間（自平成22年2月21日 至平成22年8月20日）における営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策の効果などにより一部で景気回復の兆しが見られたものの、雇用情勢や景気の先行き不透明感から個人消費は伸び悩み、依然として厳しい経営環境となりました。

こうした経営環境のもと、当社では、踏襲型運営からの脱却を図り、収益力の早期改善を目指すことを最重要課題として取り組んでまいりました。

商品動向といたしましては、主力となるべきポロシャツや半袖Tシャツなどの夏物トップス全般において、販売点数は前年並みを確保いたしました。平均単価の下落により苦戦するとともに、デニム5ポケットにつきましても低調に推移いたしました。一方では、アニメなどのキャラクター関連商品やショートパンツ類は堅調に売上を伸ばしたものの、全体を押し上げるまでには至りませんでした。

その結果、商品部門別では、ボトムス部門の売上高26億17百万円、トップス部門の売上高34億76百万円、小物部門の売上高15億22百万円となりました。

販売面といたしましては、従来の新聞折込広告に加え、交通広告（鉄道中吊り広告や駅構内への広告掲出）などのプロモーション活動にも取り組み、沿線店舗の認知度拡大・来店誘導等の強化を図ってまいりました。また、ポイントカード会員への訴求を高めるため「ポイント還元キャンペーン」や学生を対象とした「学割キャンペーン」などを実施してまいりました。

また、女性客の増加を図るため、平成22年4月1日付でハッピードア業態（雑貨を販売するバラエティショップ事業）を譲り受け、シナジー効果を最大限に発揮させるよう、そのリソースを活用しながら品揃えの拡充に着手いたしました。

出退店の状況につきましては、ジーンズメイト業態では出店がリバーウォーク北九州店（北九州市小倉区）、ららぽーとTOKYO-BAY店（千葉県船橋市）、猪名寺店（兵庫県尼崎市）、中間店（福岡県中間市）、町田店（東京都町田市）の計5店舗、退店が上野アメ横店（東京都台東区）、梅田店（大阪市北区）、三宮ロード店（神戸市中央区）の計3店舗、ゼログラ業態では退店がゼログラ明治通店（東京都渋谷区）の1店舗となりました。その結果、当第2四半期累計期間の期末店舗数は、ジーンズメイト業態112店舗、ゼログラ業態1店舗、ハッピードア業態3店舗の計116店舗となりました。

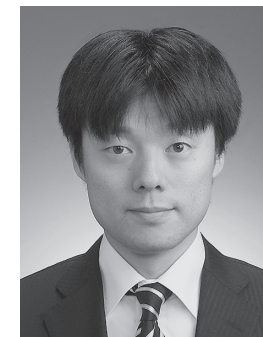
以上の結果、売上高76億16百万円、営業損失7億48百万円、経常損失7億34百万円、四半期純損失22億36百万円となりました。

なお、誠に遺憾ではございますが、中間配当金につきましては無配とさせていただきます。また、株主優待につきましては、平成22年2月20日基準日分より、株主優待制度を廃止いたしております。

今後につきましては、販売力強化と経費削減による収益力の回復に取り組んでまいります。販売面では、従来のジーンズカジュアルに加え、雑貨やアクセサリ類を新たに取り入れ、アパレルと融合したライフスタイルを提案することで、男性女性問わずお客様が楽しんでいただける売場を構築し、売上高の増加を目指してまいります。経費面では、不採算店舗の撤退促進、希望退職制度の実施による固定費の圧縮を進め、収益構造の改善、事業の再構築に尽力してまいります。

通期の見通しにつきましては、売上高156億円、営業損失15億30百万円、経常損失15億円、当期純損失32億円を見込んでおります。

平成22年11月



代表取締役社長 **西脇 昌司**

四半期貸借対照表 (平成22年8月20日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	7,505,841	流 動 負 債	1,863,260
現金及び預金	2,290,172	支 払 信 託	352,076
売 掛 金	158,580	買 掛 金	359,151
有 価 証 券	2,235,318	賞 与 引 当 金	59,856
商 品	2,415,266	ポ イ ン ト 引 当 金	232,127
そ の 他	406,503	店 舗 閉 鎖 損 失 引 当 金	92,919
		そ の 他	767,129
		固 定 負 債	337,468
固 定 資 産	2,971,373	長 期 未 払 金	335,877
投資その他の資産	2,971,373	繰 延 税 金 負 債	1,591
敷金及び保証金	2,859,850	負 債 合 計	2,200,729
そ の 他	276,423	純 資 産 の 部	
貸 倒 引 当 金	△164,900	株 主 資 本	8,274,166
資 産 合 計	10,477,214	資 本 金	2,015,812
		資 本 剰 余 金	2,125,434
		利 益 剰 余 金	5,392,020
		自 己 株 式	△1,259,100
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	2,319
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,319
		純 資 産 合 計	8,276,485
		負 債 純 資 産 合 計	10,477,214

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
売 上 高	7,616,752
売 上 原 価	4,383,205
売 上 総 利 益	3,233,546
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,981,911
営 業 損 失 (△)	△748,365
営 業 外 収 益	21,007
営 業 外 費 用	7,172
経 常 損 失 (△)	△734,530
特 別 損 失	1,478,969
税 引 前 四 半 期 純 損 失 (△)	△2,213,500
住 民 税	22,681
四 半 期 純 損 失 (△)	△2,236,181

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△301,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	626,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,183
現金及び現金同等物の増減額	269,928
現金及び現金同等物の期首残高	2,119,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,389,194

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

業績の概況

■ 業績の概況

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
売上高	7,616
経常損失(△)	△734
四半期純損失(△)	△2,236
1株当たり四半期純損失(△)	△204円59銭
総資産	10,477
純資産	8,276

(注) 1株当たり四半期純損失は、期中平均株式数で算出しております。

■ 商品部門別売上高

(単位：百万円)

部 門 別	当第2四半期累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	
ボトムス	2,617	34.4%
トップス	3,476	45.6
小物	1,522	20.0
合計	7,616	100.0

株式の状況

発行済株式総数 12,651千株
株主数 13,132名
大株主の状況

(平成22年8月20日現在)

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数	出 資 比 率
西脇健司	2,537千株	23.21%
西脇昌司	1,619	14.81
(有)ケン・アンド・ティール・ニシワキ	599	5.48
西脇タミ子	590	5.40
ジーンズメイト従業員持株会	211	1.93
西脇大輔	186	1.70
西脇隆	172	1.57
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	166	1.51
朝日火災海上保険(株)	124	1.13
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	116	1.06

(注) 大株主には、自己株式(1,721,958株)は含まれておりません。

(注) 出資比率は、自己株式(1,721,958株)を控除して計算しております。

会社の概況 (平成22年8月20日現在)

資本金 2,015百万円
従業員数 313名

主要な事業内容

当社はカジュアルウェアや雑貨等を販売する専門店チェーンであります。平成22年8月20日現在でジーンズメイト業態112店舗、ゼログラ業態1店舗、ハッピードア業態3店舗の計116店舗を展開しております。

出店形態は駅周辺や繁華街等の集客力のある商業集積地へのビルイン出店を軸に、ショッピングセンター内テナント出店などドミナントエリアを形成しつつあります。

取扱品目は、ジーンズやカジュアルパンツ等のボトムス類、Tシャツやシャツ、ジャケット等のトップス類、ソックスやベルト、服飾雑貨、ホビー等の小物類と多岐にわたっております。幅広い商品構成とリーズナブルなプライスで常に「買物のしやすい場所ですいつでも気軽に安心して買える地域一番店」を目指しております。

員 員

取締役会長	西脇健司
代表取締役社長(商品本部長)	西脇昌司
専務取締役(管理本部長)	西脇真一
取締役(店舗開発部長)	中野直人
常勤監査役	藤村道治
監査役	加納陸
監査役	田中

※監査役加納治夫氏および田中陸氏は、社外監査役であります。なお、両氏は株式会社東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

主な事業所及び店舗

本 社 東京都渋谷区元代々木町30番13号
戸田物流センター 埼玉県戸田市笹目8丁目9番10号
相模原物流センター 神奈川県愛甲郡愛川町角田字梅沢前375番1号
戸塚研修センター 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町445番1号
店 舗

	ジーンズメイト	ゼログラ	ハッピードア
東京都	47店舗		
神奈川県	20店舗		1
千葉県	6店舗		
埼玉県	15店舗	1	
栃木県	1店舗		1
愛知県	3店舗		
京都府	1店舗		
大阪府	11店舗		
兵庫県	4店舗		
広島県	3店舗		1
山口県	1店舗		
福岡県	4店舗		
合計	116店舗	1	3